



平成29年12月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (非連結)

平成29年11月14日

上場会社名 **大和重工株式会社** 上場取引所 東証二部
 コード番号 5610 URL <http://www.daiwaijuko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 保昭
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼経理部長 (氏名) 西田 伸之 TEL (082) 814-2101
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の業績 (平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	2,925	△ 0.2	△ 76	-	0	△ 99.9	△ 9	-
28年12月期第3四半期	2,931	△ 19.1	△ 29	-	42	△ 79.9	56	△ 64.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	△ 0.72	-
28年12月期第3四半期	4.18	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	6,659	3,253	48.9	240.18
28年12月期	6,383	3,289	51.5	242.81

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 3,253百万円 28年12月期 3,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	-	0.00	-	2.00	2.00
29年12月期	-	0.00	-	-	-
29年12月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、定款において期末配当の配当基準日を定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成29年12月期の業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,900	△ 0.8	△ 100	-	10	△ 89.8	5	△ 94.8	0.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年12月期 3 Q	13,580,000株	28年12月期	13,580,000株
② 期末自己株式数	29年12月期 3 Q	33,022株	28年12月期	31,681株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年12月期 3 Q	13,547,593株	28年12月期 3 Q	13,549,028株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】P. 2「業績予想に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(会計上の見積りの変更)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資需要は底堅く、雇用環境が改善傾向となるなど、緩やかながらも景気回復傾向となりました。しかしながら中国、アジア新興国等の経済減速や米国の政治動向に対する懸念、加えて北朝鮮による地政学的リスクの高まり等により、先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社は受注の確保と売上高の拡大、さらに原価の低減、経費削減に注力いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は29億25百万円（前年同期比0.2%減）、営業損失は76百万円（前年同期は営業損失29百万円）、経常利益は0百万円（前年同期は42百万円）、四半期純損失は9百万円（前年同期は四半期純利益56百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〈産業機械関連機器〉

日本工作機械工業会の発表によると、平成29年1月から9月までの工作機械受注累計では、受注総額は前年同期比26.1%の増加となっております。当社の工作機械鋳物部品部門におきましては、得意とする大型工作機械鋳物部品は工作機械全体の伸び率に比べ低く同期間における当社の工作機械鋳物部品の受注累計は、前年同期比8.8%の増加となりました。

種類別では、ディーゼルエンジン鋳物部品分野は、国内外の船舶需給が緩む中、新造船受注は大幅に落込んでいることから受注は減少しましたが、工作機械分野の受注は微増、産業機械分野は大きく受注を伸ばしております。

その結果、当セグメントの売上高は12億77百万円（前年同期比15.0%減）、受注高は15億37百万円（前年同期比9.1%増）、受注残高は8億35百万円（前年同期比45.6%増）となりました。

〈住宅関連機器〉

住宅関連機器部門におきましては、建築着工統計調査報告によりますと、平成29年1月から9月までの新設住宅着工累計戸数は、前年対比で0.5%と微増となっておりますが、足元の着工戸数は前年同月比マイナスで推移しており、引続き厳しい経済環境が続いております。

こうした状況の中、当社の主力製品である「鋳物ホーロー浴槽」の販売を中心に営業活動を展開してまいりました。

その結果、当セグメントの売上高は16億47百万円（前年同期比15.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、66億59百万円となり、前事業年度末に比べ2億75百万円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金が2億26百万円増加、また機械及び装置が2億2百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、34億5百万円となり、前事業年度末に比べ3億11百万円増加いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が1億35百万円増加、設備関係支払手形（流動負債 その他）が66百万円増加、また賞与引当金が51百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、32億53百万円となり、前事業年度末に比べ36百万円減少いたしました。その主な要因は、利益剰余金が36百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想に関する説明

平成29年12月期の業績予想につきましては、平成29年8月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,054,341	1,281,149
受取手形及び売掛金	1,340,142	1,133,584
商品及び製品	385,782	467,942
仕掛品	145,824	167,704
原材料及び貯蔵品	174,017	182,928
前払費用	772	455
繰延税金資産	10,370	29,474
未収入金	50,031	655
その他	619	1,774
流動資産合計	3,161,901	3,265,668
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	604,701	581,963
機械及び装置(純額)	228,627	431,165
土地	372,319	345,427
その他(純額)	128,993	120,858
有形固定資産合計	1,334,641	1,479,415
無形固定資産	7,046	6,448
投資その他の資産		
投資有価証券	1,680,334	1,682,244
投資不動産(純額)	132,687	156,187
その他	79,139	81,541
貸倒引当金	△5,150	△5,150
投資損失引当金	△7,000	△7,000
投資その他の資産合計	1,880,011	1,907,823
固定資産合計	3,221,699	3,393,687
資産合計	6,383,601	6,659,355

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	649,023	784,297
短期借入金	1,371,316	1,395,336
未払法人税等	25,770	8,633
賞与引当金	18,000	69,688
その他	189,804	255,722
流動負債合計	2,253,914	2,513,678
固定負債		
長期借入金	179,008	229,551
繰延税金負債	126,710	124,012
退職給付引当金	403,845	404,111
役員退職慰労引当金	56,562	60,225
資産除去債務	17,730	17,979
長期預り敷金	56,115	56,115
固定負債合計	839,972	891,995
負債合計	3,093,886	3,405,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	651,000	651,000
資本剰余金	154,373	154,373
利益剰余金	1,859,745	1,822,876
自己株式	△5,535	△5,740
株主資本合計	2,659,584	2,622,509
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	630,130	631,172
評価・換算差額等合計	630,130	631,172
純資産合計	3,289,714	3,253,681
負債純資産合計	6,383,601	6,659,355

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	2,931,075	2,925,089
売上原価	2,402,119	2,420,036
売上総利益	528,955	505,052
販売費及び一般管理費	558,049	581,710
営業損失(△)	△29,093	△76,658
営業外収益		
受取利息	88	70
受取配当金	16,263	15,552
受取地代家賃	77,070	73,832
その他	2,560	11,276
営業外収益合計	95,981	100,732
営業外費用		
支払利息	10,788	9,474
不動産賃貸関係費	13,673	13,646
その他	94	910
営業外費用合計	24,556	24,031
経常利益	42,331	42
特別利益		
補助金収入	50,000	—
災害による保険金収入	—	618
特別利益合計	50,000	618
特別損失		
固定資産処分損	93	150
災害による損失	—	440
特別損失合計	93	591
税引前四半期純利益	92,237	69
法人税、住民税及び事業税	50,945	23,301
過年度法人税等	—	5,132
法人税等調整額	△15,384	△18,591
法人税等合計	35,560	9,841
四半期純利益又は四半期純損失(△)	56,677	△9,772

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。